

2008年12月10日

報道各位

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所
〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-20-1 第28 興和ビル
電話：03-5437-2270
<http://www.ubin.jp/>

広がる ucode の活用

—経済産業省 情報大航海プロジェクト 平成20年度実証事業に、
ucode を使った2つのプロジェクトが採択—

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所（東京都品川区、所長：坂村健・東京大学教授）は、以下の通り、ucode を用いた2つの情報サービス実証事業に参画いたします。いずれも、経済産業省 情報大航海プロジェクトの平成20年度実証事業として実施されるものです。

（1）地域活性化を支える e 空間サービス：ぷらっと plat

本事業では、リアルタイムに変化する街情報の収集や個人のニーズにマッチした情報提供など、ユニーク ID (ucode) と e 空間レポジトリを基盤とするモバイル環境に対応した新たな情報の収集・蓄積・加工・配信のメカニズムを開発し、これを活用して、「今だけ、ここだけ、あなただけ」の情報提供、e 空間とリアルサービスとの融合、来訪者と地域住民・事業者、地域間の連携による付加価値の向上に取り組めます。これにより、来訪者のリアルな空間での新たな行動（観光や回遊、リアル取引など）を誘発し街の活性化や地域産業の育成に繋げるとともに、この開発した基盤を複数の地域で共有し連携することで地域型情報産業の新しいモデルの構築をめざします。

本事業では、来年度以降の実用化を目指して、松山、福岡、自由が丘の3地区で、それぞれの地区の特色にあわせた実証サービスを実施します。

< 参画企業・組織 >

沖電気工業株式会社

国立情報学研究所

株式会社東急エージェンシー

東京急行電鉄株式会社
国立大学法人東京大学
西鉄情報システム株式会社
西日本鉄道株式会社
日本電気株式会社
日本ユニシス株式会社
株式会社三菱総合研究所
YRPユビキタス・ネットワーキング研究所
(50音順)

(2) 異業種連携 ID による流通サービス

従来、デジタルコンテンツを管理するための ID は各分野において様々な形で管理・運営されています。本事業では、既存の管理 ID 体系を崩さずに、ID を ucode で共通化し、各分野の産業を活性化する異業種間連携サービスを実現します。インターネット上での電子商取引サイトで使われる商品画像データや、販売されるコンテンツの流通管理から、消費者の購買履歴や、店舗で発行される領収書まで、共通化された ID (ucode) で管理できるサービスを提供します。

< 参画企業・組織 >

株式会社アパレルウェブ
株式会社インテージ
株式会社電通
株式会社マイスペース
メディアラグ株式会社
YRPユビキタス・ネットワーキング研究所

担当：越塚登

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所

電話：03-5437-2270

E-mail：press@ubin.jp